

第6期第1回 横浜市子ども・子育て会議〔青少年部会〕

日時：令和5年6月29日（木）10:00～12:00

場所：青少年交流・活動支援スペース 第1研修室
及び オンライン開催（Zoom）

議事次第

入室（資料確認）

- 1 開会
- 2 青少年部長あいさつ
- 3 委員紹介
- 4 事務局挨拶
- 5 議事
 - (1) 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査について
 - (2) 青少年の地域活動拠点づくり事業の効果的実施に向けた検討について
- 6 閉会
 - ・事務連絡

〔配付資料〕

- ・議事次第
- ・資料1 横浜市子ども・子育て会議青少年部会 委員名簿
- ・資料2 横浜市子ども・子育て会議青少年部会 事務局名簿
- ・資料3 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に向けたニーズ調査について
- ・資料4 「青少年の地域活動拠点づくり事業」の効果的実施に向けた検討について
- ・資料5 横浜市子ども・子育て会議条例
- ・資料6 横浜市子ども・子育て会議運営要綱

第6期 横浜市子ども・子育て会議 青少年部会
委員名簿

【敬称略 50音順】

任期:令和4年11月1日～令和6年10月31日

	所属・役職 等	氏名
1	横浜市PTA連絡協議会 副会長	くらね みほ 倉根 美帆
2	特定非営利活動法人 アンガージュマン・よこすか 理事長	しまだ のりたか 島田 徳隆
3	静岡県立大学 国際関係学部 教授	つとみ ひろし 津富 宏
4	駒澤大学 総合教育研究部 教授	はぎわら けんじろう 萩原 建次郎
5	横浜市立中学校長会(市場中学校 校長)	ひらもり よしのり 平森 義教
6	横浜市青少年指導員連絡協議会 会長	へんみ しんいち 辺見 伸一
7	横浜市立大学 大学院 都市社会文化研究科 教授	みわ のりえ 三輪 律江
8	神奈川県弁護士会	やお きとし 矢尾 寛史
9	横浜市民生委員児童委員協議会 理事	やなだ りえこ 梁田 理恵子
10	横浜市立高等学校長会(横浜総合高等学校 校長)	よこた たかゆき 横田 孝行

横浜市子ども・子育て会議 青少年部会 事務局名簿

所 属 ・ 役 職	氏 名
青少年部長	たぐち かなえ 田 口 香 苗
青少年育成課長	もりわき みやこ 森 脇 美 也 子
青少年相談センター所長	おぐり ゆみ 小 栗 由 美
青少年育成課担当係長	さいとう たけし 斉 藤 健
青少年育成課担当係長	こまつ ナツメ 小 松 ナツメ
青少年育成課担当係長	いしまる まさや 石 丸 雅 也
青少年相談センター副所長	おおつ きえこ 大 津 章 絵 子
青少年相談センター相談支援担当係長	はぎわら としかず 萩 原 敏 一
企画調整課長	かきぬま ちひろ 柿 沼 千 尋
企画調整課担当係長	いくの もと やす 生 野 元 康

第3期子ども・子育て支援事業計画 策定に向けたニーズ調査について

現行の「第2期横浜市子ども・子育て支援事業計画」が令和6年度に終了することに伴い、令和5年度から次期計画（計画期間：令和7～11年度）の策定に向けた検討を行います。

計画の具体的な検討に先立ち、本市の子育て家庭の状況や意向を把握するため、子ども・子育て支援法等に基づき、子育て家庭を対象とした「利用ニーズ把握のための調査（以下、「ニーズ調査」）」を実施する予定です。

本日お示しする調査項目(案)について、子ども・子育て会議においてご意見をいただいたうえで、ニーズ調査の実施に向けて準備を進めていきます。

2 ニーズ調査の実施概要



(1) 調査の種類

- ①未就学児童の保育等に関する現状及び保護者ニーズ調査（以下「未就学児調査」）
- ②小学生の放課後等に関する現状及び保護者ニーズ調査（以下「小学生調査」）

(2) 抽出方法・抽出数、実施時期

		R 5年度調査	参考：前回調査（H30年度）	
抽出方法		住民基本台帳から無作為抽出	住民基本台帳から無作為抽出	【回収状況】
抽出数	(1)未就学児調査	約64,000人	62,677人	28,721人 (回収率 45.8%)
	(2)小学生調査	約66,000人	66,358人	30,738人 (回収率 46.3%)
	合計	約130,000人	129,035人	59,459人 (回収率 46.1%)
実施時期		R 5年10月	H30年6月14日 対象者あて発送 H30年7月10日 調査回答期限	
回答方法		①郵送による回収 ②インターネット回答	郵送による回収	

※外国籍の方は、外国語（英語及び中国語）の調査票を別途作成し、郵送回収

3 調査項目設定の考え方



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

- (1) 子ども・子育て支援法で定める、保育・教育及び地域子ども・子育て支援事業の「量の見込み」の算出に必要な項目を設けます。
- (2) 回答者の負担軽減や回収率の向上を図る観点から、調査項目全体のスリム化を図ります。
- (3) 中期計画2022～2025の基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」を踏まえ、横浜で子育てして良かったと実感していただけるような施策につなげる項目を追加します。

【参考】横浜市中期計画2022～2025の基本戦略

『子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ』

未来の横浜を担う次世代を育むことで、共に未来を切り拓く市民を増やし、都市の活力・持続可能性を高めます。

横浜に関わる様々な人・団体の皆様との協働・共創を通じて、横浜の魅力を更に高め、「住みたい都市」「住み続けたい都市」「選ばれる都市」を目指します

4 調査項目のスリム化



調査項目のスリム化にあたっては、下記の2つの観点から、既存の設問（前回調査）の見直しを進めます。

- ① 「量の見込み」の算出に必要な設問など、優先度の高い項目を精査。

《主な見直し項目》

保護者の休日等の勤務状況、育児短時間勤務の取得状況 等

- ② 利用者向けの設問などは、利用者を対象とした他のアンケート・調査等の実施を検討。また、他の調査等で把握可能な項目の精査。

《主な見直し項目》

児童発達支援の利用状況、地域子育て支援拠点等の認知度 等

【参考】他のアンケート・調査等

- 妊娠から出産にかかる支援のニーズに関する子育て世帯に対するアンケート調査
- 横浜市放課後キッズクラブ・放課後児童クラブの充実に向けた調査
- 障害児通所支援事業（児童発達支援・放課後等デイサービス）の利用者向けアンケート
- 家庭と子育てに関するコホート研究：ハマスタディ（R4年度から5年間の継続調査）
※横浜市立大学と共同

5 施策につなげる項目の追加 ※検討中（6/12時点案）



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

「子育てしたいまち」の実現に向けた施策検討につなげていくため、新たな着眼点での項目を設定します。

《追加項目》

- ・ 地域の子育て支援の情報入手方法、子育てする上で知りたい情報 等
…負担軽減につながる施策
- ・ 子どもが病気やけがの際の困り事 等
…安心感につながる施策

6 その他

こども基本法を踏まえ、小学生調査において「子ども自身に回答してもらう項目」を新たに設定します。

《追加項目》

- ・ 家や学校以外の居心地の良い場所、横浜市がどのようなまちになってもらいたいかなど 等

7 調査票の構成



(1) 未就学児調査

大項目		設問数
1	家族の状況	8問
2	保護者の就労状況	8問
3	子どもの障害、発達の状況	3問
4	日中の定期的な教育・保育事業の利用	7問
6	不定期な教育・保育、一時預かり等の利用	3問
5	病気の際の対応	6問

大項目		設問数
7	地域における子育て支援等	2問
8	小学校就学後の放課後の過ごし方	1問
9	児童発達支援	1問
10	育児休業などの両立支援制度	5問
11	妊娠・出産・子育て全般	25問

計 69問

(うち全員回答42問、該当者のみ回答27問)

(2) 小学生調査

大項目		設問数
1	家族の状況	7問
2	保護者の就労状況	4問
3	子どもの障害、発達の状況	3問
4	放課後の過ごし方	21問

大項目		設問数
5	病気の際の対応	6問
6	子育て全般	19問
7	子ども本人への質問	7問

計 67問

(うち全員回答39問、該当者のみ回答28問)

8 スケジュール（予定）



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

	令和5年度												令和6年度																		
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3							
次期計画の策定	→ 調査項目検討 (~6月)			● 調査票確定 (7月)	→ 調査実施 (10月)			★ 結果公表 (3月)					→ 素案、量の見込み・確保方策の検討 (~8月)					● 素案公表 (10月)	→ パブコメ (10月)	→ 原案検討 (11~1月)	● 原案公表 (2月)	● 計画策定 (3月)									
子ども・子育て会議	調査項目検討			部会 (6/29)	総会 (7/31)	部会 → 総会			令和4年度の点検・評価					総会	素案、量の見込み・確保方策の検討					部会 → 総会	パブコメ報告 原案検討					部会 → 総会	総会	策定報告 総会			
												二ーズ調査 結果報告										令和5年度の点検・評価									

【未就学児調査】

- ①設問の優先順位を踏まえた見直し
- ②他の調査・アンケートでの把握を検討

別紙 1

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
9	0	1	1 お子さんご家族の状況について	
1		1	問1	居住区
1		2	問2	子どもの生年月
1		3	問3	子どもの人数、一番下の子の年齢
1		4	問4	アンケートの回答者
1		5	問5	配偶関係
1		6	問6	父親・母親の年齢
1		7	問7	世帯の年収
1		8	問8	平日、子どもと一緒に過ごす時間/1日
1		9	問9	赤ちゃんの世話経験の有無
2	8	2	2 保護者の就労状況について	
1		10	問10	父親の就労状況
	1	11	問10-1	(就労中の父親) 1週当たりの就労日数、就労時間
	1	12	問10-2	(就労中の父親) 家を出る時間、帰宅時間
	1	13	問10-3	(就労中の父親) 土曜、日曜・祝日の勤務日数
1		14	問11	母親の就労状況
	1	15	問11-1	(就労中の母親) 1週当たりの就労日数、就労時間
	1	16	問11-2	(就労中の母親) 家を出る時間、帰宅時間
	1	17	問11-3	(就労中の母親) 土曜、日曜・祝日の勤務日数

回答の対象		今回調査 ※R5.6.13時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目 ※赤字は、中期計画等を踏まえた施策につなげる追加項目	
8	0	1	1 お子さんご家族の状況について		
1		1	問1	居住区	
1		2	問2	子どもの生年月	
1		3	問3	子どもの人数、一番下の子の年齢	
1		4	問4	アンケートの回答者	
1		5	問5	配偶関係	
1		6	問6	父親・母親の年齢	
1		7	問7	世帯の年収	
				(削除)	②
1		8	問8	赤ちゃんの世話経験の有無	
2	6	2	2 保護者の就労状況について		
1		9	問9	父親の就労状況	
	1	10	問9-1	(就労中の父親) 1週当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間	
				(問9-1に統合)	
				(削除)	①
	1	11	問9-2	(パート・アルバイト就労中の父親の) フルタイムへの転換希望	
	1	12	問9-3	(就労していない父親の) 就労希望、希望する就労形態	
1		13	問10	母親の就労状況	
	1	14	問10-1	(就労中の母親) 1週当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間	
				(問10-1に統合)	
				(削除)	①
	1	15	問10-2	(パート・アルバイト就労中の母親の) フルタイムへの転換希望	
	1	16	問10-3	(就労していない母親の) 就労希望、希望する就労形態	

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
	1	18	問12	(パート・アルバイト就労中の父親・母親の) フルタイムへの転換希望
	1	19	問13	(就労していない父親・母親の) 就労希望、希望する就労形態
1	2	3	お子さんの障害、発達の状況について	
1		20	問14	子どもの発達に関して、医師の診断の有無
	1	21	問14-1	(診断を受けている場合) 診断内容
	1	22	問14-2	(診断を受けている場合) 発達、障害についての相談機関
6	7	4	お子さんの日中の定期的な教育・保育事業の利用について	
1		23	問15	幼稚園や保育所などの「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用状況
	1	24	問15-1	(利用している人の) 定期的に利用している教育・保育の事業
	1	25	問15-2	(利用している人の) 教育・保育の事業の利用日数、利用時間【現状、希望】
	1	26	問15-3	(利用している人の) 教育・保育事業の実施場所
	1	27	問15-4	(利用している人の) 利用している理由
	1	28	問15-5	(利用している人の) 教育・保育のサービスに満足度
	1	29	問15-6	(満足度がやや不満足・不満足の場合) 不満足の原因
	1	30	問15-7	(利用していない人の) 利用していない理由
1		31	問16	平日の日中の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業
1		32	問16-1	無償化の影響の有無
1		33	問16-2	平日の日中の教育・保育の事業を選択するにあたり、重視すること
1		34	問16-3	幼稚園での2歳児長時間預かりの利用意向、利用したい理由
1		35	問17	休日・祝日に定期的に預ける必要日数/年間、休日保育の利用が必要な日数/年間
3	1	6	お子さんの不規則の教育・保育事業、一時預かり等の利用について	
1		44	問19	一時預かり事業等の認知度、利用状況、利用していない理由

回答の対象		今回調査 ※R5.6.13時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
				(問9-2、問10-2へ移動)	
				(問9-3、問10-3へ移動)	
1	2	3	お子さんの障害、発達の状況について		
1		17	問11	子どもの発達に関して、医師の診断の有無	
	1	18	問11-1	(診断を受けている場合) 診断内容	
	1	19	問11-2	(診断を受けている場合) 発達、障害についての相談機関	
3	4	4	お子さんの日中の定期的な教育・保育事業の利用について		
1		20	問12	幼稚園や保育所などの「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用状況	
	1	21	問12-1	(利用している人の) 定期的に利用している教育・保育の事業	
	1	22	問12-2	(利用している人の) 教育・保育の事業の利用日数、利用時間【現状、希望】	
	1	23	問13	(利用している人に) 教育・保育事業の利用を開始した時期	
1		24	問14	教育・保育事業の利用を開始したい・したかった時期	
	1	25	問14-1	(利用開始時期の実際と希望に違いがある人に) 利用開始の実際と希望が違った理由	
				(削除)	①
				(削除)	①
				(削除)	②
				(削除)	①
				(削除)	①
1		26	問15	平日の日中の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業	
				(削除)	①
				(削除)	①
				(問15に改編)	
				(削除)	①
1	2	5	お子さんの不規則の教育・保育事業、一時預かり等の利用について		
				(削除)	②

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)			
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
1		45	問20	不定期の就労、冠婚葬祭、親の通院、リフレッシュ等の目的で、お子さんを預ける日数	
	1	46	問21	(横浜子育てサポートシステムを利用している人に) 横浜子育てサポートシステムを利用した理由	
1		47	問21-1	横浜子育てサポートシステムの、子どもの預かりを行う提供会員の状況	
0	8	5 お子さんの病気等の際の対応について			
	1	36	問18	(日中の定期的な教育・保育事業を利用している人に) この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無	
	1	37	問18-1	(事業が利用できなかった人の) 1年間の対処方法と日数	
	1	38	問18-2	(病児・病後児保育施設等を利用していない人に) できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった日数	
	1	39	問18-3	(病児・病後児保育を利用したかった人に) 利用しなかった理由	
	1	40	問18-4	(病児・病後児保育を利用したくない人に) 病気やケガで子どもを預ける場合の望ましい事業形態	
	1	41	問18-5	(病児・病後児保育を利用した人に) 多く利用した施設の実施場所	
	1	42	問18-6	(保護者以外が対処した人に) 保護者が看たいと思ったか	
	1	43	問18-7	(保護者が休んで看ることが考えられない人に) その理由は何か	
7	0	7 地域における子育て支援等について			
1		48	問22	「親子の居場所(各事業ごとの)」の認知、利用状況、利用日数	
1		49	問22-1	「親子の居場所(各事業ごとの)」の利用希望日数	
1		50	問22-2	普段子どもと一緒に利用する場所、利用している理由	
1		51	問23	横浜子育てパートナーの認知度、相談の有無、相談回数	
1		52	問24	プレイパークの認知度、利用状況、今後の利用希望	
1		53	問25	保育所・幼稚園・親子の居場所などの地域での子育て支援に関する情報の入手先	
1		54	問26	母親教室(両親教室)や保健師・助産師の家庭訪問等の認知度、利用状況、今後の利用希望	

回答の対象		今回調査 ※R5.6.13時点				スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目		
				※赤字は、中期計画等を踏まえた施策につなげる追加項目		
	1	27	問16	(幼稚園・認定こども園を定期的に利用したい人に) 幼稚園の一時預かりの利用意向、日数		
1		28	問17	不定期の就労、冠婚葬祭、親の通院、リフレッシュ等の目的で、お子さんを預ける日数		
	1	29	問18	(一時預かり事業を利用したい人に) 一時預かり事業の利用を開始したい・しなかった時期		
				(削除)		①
				(削除)		①
2	4	6 お子さんの病気等の際の対応について				
	1	30	問19	(日中の定期的な教育・保育事業を利用している人に) この1年間に、病気やケガで通常の事業が利用できなかったことの有無		
	1	31	問19-1	(定期的な教育・保育の事業が利用できなかった人の) 1年間の対処方法と日数		
	1	32	問19-2	(病児・病後児保育施設等を利用していない人に) できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった日数		
	1	33	問19-3	(病児・病後児保育を利用したかった人に) 利用しなかった理由		
				(削除)		①
				(削除)		①
				(削除)		①
				(削除)		①
1		34	問20	お子さんが病気やけがをした際の困り事		
1		35	問21	お子さんの体調不良時の健康相談に関するオンラインサービスの意向		
2	0	7 地域における子育て支援等について				
1		36	問22	「親子の居場所」の利用状況、利用日数、利用目的、利用希望日数		
				(問22に改編)		
				(問22に改編)		
				(削除)		①
				(削除)		①
1		37	問23	プレイパークの認知度、利用状況、今後の利用希望		
				(削除)		①
				(削除)		①

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)			
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
0	2	8 小学校就学後の放課後の過ごし方について			
	1	55	問27	(子どもが3歳以上の人に) 小学校低学年で放課後過ごさせたい場所、日数	
	1	56	問28	(子どもが3歳以上の人に) 小学校高学年で放課後過ごさせたい場所、日数	
0	10	9 児童発達支援の利用について			
	1	57	問29	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援の利用日数、利用希望日数	
	1	58	問30	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援の利用時間、利用希望時間	
	1	59	問31	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援を利用している理由	
	1	60	問32	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援を利用したお子さんの変化	
	1	61	問33	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援を利用して保護者としての効果	
	1	62	問34	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援を利用して保護者から見た満足度	
	1	63	問35	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援に今後望むこと	
	1	64	問36	(児童発達支援を利用している人に) 児童発達支援(地域療育センター含む)以外に利用しているサービス	
	1	65	問37	(児童発達支援を利用していないが、利用希望がある人に) 児童発達支援を利用していない理由	
	1	66	問38	(児童発達支援を利用していないが、利用希望がある人に) 児童発達支援の利用希望日数、利用希望時間	
1	9	10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について			
	1	67	問39	父・母それぞれの育児休業を取得状況	
	1	68	問39-1	(育児休業を取得していない人に) 取得していない理由	
	1	69	問39-2	(育児休業を取得した(育休中である)母に) 育休取得後の職場復帰の状況	
	1	70	問39-3	(育児休業取得後、職場復帰した母に) 職場復帰したタイミング	
	1	71	問39-4	(育児休業取得後、職場復帰した母に) 育休からの復帰時期(実際と希望)	
	1	72	問39-5	(育児休業取得後、職場復帰した母に) 3歳まで育児休業を取得できる場合の育休取得期間の希望	
	1	73	問39-6	(現在も育児休業中の母に) 1歳又は2歳に必ず預けることができる場合の育休取得期間の希望	
	1	74	問39-7	(育休の復帰時期が実際と希望で異なる人に) 希望の時期に職場復帰しなかった理由	

回答の対象		今回調査 ※R5.6.13時点				スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目		
		※赤字は、中期計画等を踏まえた施策につなげる追加項目				
0	1	8 小学校就学後の放課後の過ごし方について				
	1	38	問24	(子どもが3歳以上の人に) 小学校で放課後過ごさせたい場所、日数		
				(問24に統合)		
1	0	9 児童発達支援の利用について				
	1	39	問25	児童発達支援の利用状況、今後の利用希望		
				(削除)		②
				(削除)		②
				(削除)		②
				(削除)		②
				(削除)		②
				(削除)		②
				(削除)		②
				(削除)		②
1	4	10 育児休業など職場の両立支援制度について				
	1	40	問26	父・母それぞれの育児休業を取得状況		
				(削除)		①
	1	41	問26-1	(育休を取得した方の) 育休取得後の職場復帰の状況		
				(削除)		
	1	42	問26-2	(育休を取得した方の) 育休からの復帰時期(実際と希望)		
	1	43	問26-3	(育休からの復帰時期の実際と希望に違いがある人に) 育休からの復帰時期の実際と希望が違った理由		
				(削除)		①
	1	44	問26-4	(育休を取得した方の) 1歳又は2歳に必ず預けることができる場合の育休取得期間の希望		
				(削除)		①

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
	1	75	問40	育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用したか
	1	76	問40-1	(短時間勤務制度を利用しなかった人に) 短時間勤務を利用しなかった理由
14	5	11	妊娠・出産・子育て全般について	
1		77	問41	妊婦健康診査の受診状況
	1	78	問41-1	(妊婦健診をあまり受診しなかった、一度も受診しなかった人に) 受診しなかった理由
1		79	問42	妊娠中や出産後に重要なサポートとはどのようなものだと思うか
1		80	問43	現在、お子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる人
1		81	問44	現在、子育てに対する周囲からの支え(育児の手伝い)があるか
1		82	問45	現在、お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無
	1	83	問45-1	(親族に預かってもらえる人に) 祖父母等の親族に預かってもらっている状況
	1	84	問45-2	(友人に預かってもらえる人に) 友人・知人に預かってもらっている状況
1		85	問46	日常の子育てを楽しく安心して行うために必要なサポートで、重要だと思うもの
1		86	問47	子育てについて、不安を感じたり自信が持てなくなることがあるか(妊娠中、出産後、現在)
1		87	問48	現在、子育てをしていて感じている困りごと
1		88	問48-1	子育てに関する困りごとについて、相談したことはあるか
	1	89	問48-2	(相談したことがある人に) 相談先
	1	90	問48-3	(相談したことがない人に) 相談したことがない理由
1		91	問49	子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、相談しやすい相談先

回答の対象		今回調査 ※R5.6.13時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
				(削除)	①
				(削除)	①
21	4	11	妊娠・出産・子育て全般について		
				(削除)	②
				(削除)	①
				(削除)	②
1		45	問27	お子さんと一緒に外出する時の不便にかじることや困ったこと	
	1	46	問28	(ベビーカーでの移動が負担と回答した人に) ベビーカーで外出する際に負担に感じる事	
1		47	問29	横浜市に10年度も住んでいると思うか	
1		48	問30	現在の暮らしの状況	
1		49	問31	子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか	
1		50	問32	現在、お子さんの子育て(教育を含む)について、気軽に相談できる人	
1		51	問33	現在、子育てに対する周囲からの支え(育児の手伝い)があるか	
1		52	問34	現在、お子さんを預かってもらえる親族・知人の有無	
				(削除)	①
				(削除)	①
1		53	問35	日常の子育てを楽しく安心して行うために必要なサポートで、重要だと思うもの	
1		54	問36	子育てについて、不安を感じたり自信が持てなくなることがあるか(妊娠中、出産後、現在)	
1		55	問37	現在、子育てをしていて感じている困りごと	
1		56	問37-1	子育てに関する困りごとについて、相談したことはあるか	
	1	57	問37-2	(相談したことがある人に) 相談先	
	1	58	問37-3	(相談したことがない人に) 相談したことがない理由	
1		59	問38	子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、相談しやすい相談先	
1		60	問39	地域の子育て支援に関する情報の入手手段(第1子妊娠中と現在)	
1		61	問40	子育てをする上で、知りたい情報は何か。	

回答の対象		前回調査（H30年度実施）		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
1		92	問50	現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか
1		93	問51	子どもを育てている現在の生活の満足度
1		94	問52	これまでで、子育てをしてよかったこと、うれしかったこと
1		95	問53	自由記述
43	52			
95				

回答の対象		今回調査 ※R5.6.13時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
				※赤字は、中期計画等を踏まえた施策につなげる追加項目	
1		62	問41	子育て支援に関するオンライン上での手続きの利用有無	
	1	63	問42	(オンライン上での手続きをしたことない人に) 利用したことが無い理由	
1		64	問43	子育て支援の電子化に関連して期待すること	
1		65	問44	現在、子育てをしていて、楽しさと大変さのどちらを感じる人が多いか	
1		66	問45	子どもを育てている現在の生活の満足度	
1		67	問46	これまでで、子育てをしてよかったこと、うれしかったこと	
1		68	問47	子育て支援の充実に向けて望むこと	
1		69	問48	自由記述	
42	27				
69					

【小学生調査】

①設問の優先順位を踏まえた見直し
②他の調査・アンケートでの把握を検討

※抜粋した調査票（水色セル）は【別紙2】を参照

回答の対象		前回調査（H30年度実施）		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
8	0	1 お子さんご家族の状況について		
1		1	問1	居住区
1		2	問2	学校名
1		3	問3	子どもの学年
1		4	問4	子どもの人数、一番下の子の年齢
1		5	問5	アンケートの回答者
1		6	問6	配偶関係
1		8	問8	世帯の年収
1		7	問7	父親・母親の年齢
2	8	2 保護者の就労状況について		
1		9	問9	父親の就労状況
	1	10	問9-1	（就労中の父親）1週当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間
	1	11	問9-2	（就労中の父親）土曜、日曜・祝日の勤務日数
	1	12	問9-3	（以前就労していて、現在は就労していない父親）仕事を辞めた時期
	1	13	問9-4	（就労していない父親）就労希望または就労見込み、就労開始後の子どもが放課後過ごす場所
1		14	問10	母親の就労状況
	1	15	問10-1	（就労中の母親）1週当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間
	1	16	問10-2	（就労中の母親）土曜、日曜・祝日の勤務日数
	1	17	問10-3	（以前就労していて、現在は就労していない母親）仕事を辞められた時期
	1	18	問10-4	（就労していない母親）就労希望または就労見込み、就労開始後の子どもが放課後過ごす場所
1	2	3 お子さんの障害、発達の状況について		
1		19	問11	子どもの発達に関して、何らかの医師の診断の有無
	1	20	問11-1	（診断を受けている場合）診断内容

回答の対象		今回調査 ※R5.6.19時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
7	0	1 お子さんご家族の状況について			
1		1	問1	居住区	
				（削除）	①
1		2	問2	子どもの学年	
1		3	問3	子どもの人数、年齢区分ごとの人数	
1		4	問4	アンケートの回答者	
1		5	問5	配偶関係	
1		6	問6	世帯の年収	
1		7	問7	父親・母親の年齢	
2	2	2 保護者の就労状況について			
1		8	問8	父親の就労状況	
	1	9	問8-1	（就労中の父親）1週当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間	
				（削除）	①
				（削除）	①
				（削除）	①
1		10	問9	母親の就労状況	
	1	11	問9-1	（就労中の母親）1週当たりの就労日数、就労時間、家を出る時間、帰宅時間	
				（削除）	①
				（削除）	①
				（削除）	①
1	2	3 お子さんの障害、発達の状況について			
1		12	問10	子どもの発達に関して、何らかの医師の診断の有無	
	1	13	問10-1	（診断を受けている場合）診断内容	

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
	1	21	問11-2	(診断を受けている場合) 発達、障害についての相談機関
11	14	4 お子さんの放課後の過ごし方について		
1		22	問12	通常期(学校の長期休業中を除く)の放課後等の時間の過ごし方
1		23	問13	学校の長期休業中(夏休み、冬休み等)の放課後等の時間の過ごし方
1		24	問14	「放課後キッズクラブ」の利用状況、今後の利用希望
	1	25	問14-1	(利用している人に) 利用時間、利用希望時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)
	1	26	問14-2	(利用している人のうち、17時以降は利用していない人に) 利用していない理由
1		27	問15	放課後キッズクラブの17時以降の利用料の金額をどのように感じるか(月額、スポット料)
	1	28	問16	(利用している人に) 「放課後キッズクラブ」の活動内容の満足度、今後望むこと
1		29	問17	「放課後児童クラブ」の利用状況、今後の利用希望
	1	30	問17-1	(利用している人に) 利用時間、利用希望時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)
	1	31	問18	(利用している人に) 現在利用している「放課後児童クラブ」の利用料
	1	32	問19	(利用している人に) 現在利用している「放課後児童クラブ」の利用料をどのように感じるか
	1	33	問20	(利用している人に) 「放課後児童クラブ」の活動内容の満足度、今後望むこと
1		34	問21	「民間企業等が運営する学童保育事業所」の利用状況
	1	35	問21-1	(利用している人に) 利用時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)
	1	36	問21-2	(利用している人に) 現在利用している「その他事業所」の利用料
1		37	問22-1	「放課後等デイサービス」の利用状況、今後の利用希望
	1	38	問22-2	(利用している人に) 「放課後等デイサービス」利用時間、利用希望時間(通常期、学校の長期休業中、土曜・日曜・祝日)

回答の対象		今回調査 ※R5.6.19時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
	1	14	問10-2	(診断を受けている場合) 発達、障害についての相談機関	
10	11	4 お子さんの放課後の過ごし方について			
1		15	問11	通常期(学校の長期休業中を除く)の放課後等の時間の過ごし方	
1		16	問12	学校の長期休業中(夏休み、冬休み等)の放課後等の時間の過ごし方	
1		17	問13	「放課後キッズクラブ」の利用状況、利用している・していない理由	
	1	18	問13-1	(利用していない人に) 今後の利用希望	
	1	19	問13-2	(利用している人に) 現在の利用時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)	
	1	20	問13-3	(利用している人に) 現在の利用時間が希望通りであるか否か	
	1	21	問13-4	(利用時間が希望通りでない人に) 希望の利用時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)	
				(削除)	①
				(削除)	①
1		22	問14	「放課後キッズクラブ」に今後望むこと	
1		23	問15	「放課後児童クラブ」の利用状況、利用している・していない理由	
	1	24	問15-1	(利用していない人に) 今後の利用希望	
	1	25	問15-2	(利用している人に) 利用時間、利用希望時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)	
	1	26	問15-3	(利用している人に) 現在の利用時間が希望通りであるか否か	
	1	27	問15-4	(利用時間が希望通りでない人に) 希望の利用時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)	
				(削除)	①
				(削除)	②
1		28	問16	「放課後児童クラブ」に今後望むこと	
1		29	問17	「民間企業等が運営する学童保育事業所」の利用状況	
	1	30	問17-1	(利用している人に) 利用時間(通常期、学校の長期休業中、土曜)	
				(削除)	①
1		31	問18	「放課後等デイサービス」の利用状況、今後の利用希望	
	1	32	問18-1	(利用していない人に) 今後の利用希望	
				(削除)	②

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
	1	39	問23	(利用している人に) 「放課後等デイサービス」の利用日数、利用希望日数
	1	40	問23-1	(利用している人に) 「放課後等デイサービス」の満足度、今後望むこと
	1	41	問24	「放課後等デイサービス」を利用して、お子さんは変わったか
	1	42	問25	「放課後等デイサービス」以外に利用しているサービス
1		43	問26	「横浜子育てサポートシステム」の認知度、利用状況
1		44	問26-1	「横浜子育てサポートシステム」を今後利用したいと思うか、利用したい日数
1		45	問26-2	横浜子育てサポートシステムの、子どもの預かりを行う提供会員の状況
1		46	問27	プレイパークの認知度、利用状況、今後の利用希望
1	7	5 お子さんの病気等の際の対応について		
1		47	問28	この1年間に、病気やケガで登校できなかったことがあったか
	1	48	問28-1	(登校できなかった場合の) 1年間の対処方法と日数
	1	49	問28-2	(病児・病後児保育施設等を利用してない人に) できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった日数
	1	50	問28-3	(病児・病後児保育を利用したかった人に) 利用しなかった理由
	1	51	問28-4	(病児・病後児保育を利用したくない人に) 病気やケガで子どもを預ける場合の望ましい事業形態
	1	52	問28-5	(病児・病後児保育を利用した人に) 多く利用した施設の実施場所
	1	53	問28-6	(保護者以外が対処した人に) 保護者が看たいと思ったか
	1	54	問28-7	(保護者が休んで看ることが考えられない人に) その理由は何か
13	2	6 子育て全般について		
1		55	問29	小学校入学前に、主に利用していた教育・保育事業
1		56	問30	子どもが思春期を迎えるとき、子どもとコミュニケーションをうまくできるか不安を感じているか
1		57	問31	子どもが社会人として自立するため、中・高校生世代のうちに特に身につけてほしいと思うもの
1		58	問32	中・高校生世代に過ごしてほしい放課後(平日の学校終了後や休日)の場所
1		59	問33	中・高校生世代のうちに学校や家庭以外の場でしてほしい体験

回答の対象		今回調査 ※R5.6.19時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
				(削除)	②
				(削除)	②
				(削除)	②
				(削除)	②
				(削除)	②
1		33	問19	「横浜子育てサポートシステム」を今後の利用希望と利用したい日数	
				(削除)	①
1		34	問20	プレイパークの認知度、利用状況、今後の利用希望	
	1	35	問20-1	(利用していない人に) 今後の利用希望	
3	3	5 お子さんの病気等の際の対応について			
1		36	問21	この1年間に、病気やケガで登校できなかったことがあったか	
	1	37	問21-1	(登校できなかった場合の) 1年間の対処方法と日数	
	1	38	問21-2	(病児・病後児保育施設等を利用してない人に) できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった日数	
	1	39	問21-3	(病児・病後児保育を利用したかった人に) 利用しなかった理由	
1		40	問22	お子さんが病気やけがをした際の困り事	
1		41	問23	お子さんの体調不良時の健康相談に関するオンラインサービスの意向	
				(削除)	①
				(削除)	①
				(削除)	①
				(削除)	①
16	3	6 子育て全般について			
				(削除)	①
				(削除)	①
				(削除)	①
				(削除)	①
				(削除)	①

回答の対象		前回調査 (H30年度実施)		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
1		60	問34	子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか
1		61	問35	普段、近所の人とのつきあい方
1		62	問36	現在、お子さんの子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人
1		63	問37	現在、子育てをしていて感じている困りごと
1		64	問37-1	子育てに関する困りごとについて、相談したことの有無
	1	65	問37-2	(相談したことがある人に) 相談先
	1	66	問37-3	(相談したことがない人に) 相談したことがない理由
1		67	問38	子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、相談しやすい相談先
1		68	問39	あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足しているか
1		69	問40	自由記述

回答の対象		今回調査 ※R5.6.19時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
		42	問24	中高生世代が利用する場所を整備する際に、よく利用されるための機能	
		43	問25	お子さんの過去1年間の学校以外での体験の状況	
		44	問26	横浜市に10年度も住んでいると思うか	
		45	問27	現在の暮らしの状況	
		46	問28	子育てをしていて、地域社会から見守られている、支えられていると感じるか	
				(削除)	①
		47	問29	現在、お子さんの子育て（教育を含む）について、気軽に相談できる人	
		48	問30	現在、子育てをしていて感じている困りごと	
		49	問30-1	子育てに関する困りごとについて、相談したことの有無	
	1	50	問30-2	(相談したことがある人に) 相談先	
	1	51	問30-3	(相談したことがない人に) 相談したことがない理由	
		52	問31	子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、相談しやすい相談先	
		53	問32	地域の子育て支援に関する情報の入手手段	
		54	問33	子育てをする上で、知りたい情報は何か。	
		55	問34	子育て支援に関するオンライン上での手続きの利用有無	
	1	56	問35	(オンライン上での手続きをしたことない人に) 利用したことが無い理由	
		57	問36	子育て支援の電子化に関連して期待すること	
		58	問37	子どもを育てている現在の生活の満足度	
		59	問38	子育て支援の充実に向けて望むこと	
		60	問39	自由記述	
0	7	7 お子さんご本人への質問			
	1	61	問40	興味や関心事	
	1	62	問41	家や学校以外の居心地が良いと感じる場所	
	1	63	問42	横浜市がどのようなまちになってもらいたいのか	
	1	64	問43	学校の授業以外で、新しいことを知ったり学んだりする機会	
	1	65	問44	「未来の理想の自分」のイメージに合う言葉	

回答の対象		前回調査（H30年度実施）		
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目
36	33			
69				

回答の対象		今回調査 ※R5.6.19時点			スリム化の観点
全員	該当者のみ	通し番号	問No.	調査項目	
	1	66	問45	【調整中】あなたの好きな○○ ※計画の冊子やチラシ等の作成に活用を想定	
	1	67	問46	自由記述（大人に伝えたいこと）	
39	28				
67					

横浜市子ども・子育て支援事業計画の策定に向けた 利用ニーズ把握のための調査 <小学生調査>

【調査票】

◆本アンケート調査について

- ・本アンケート調査は、横浜市が次期「横浜市子ども・子育て支援事業計画」（計画期間：令和7年～11年度）の策定に向けて実施するものです。
- ・皆さまからいただくご回答は、本市が今後の子ども・子育て支援施策を検討、推進するうえで大変重要なものです。ご多忙中とは存じますが、是非ご協力いただきますようお願い申し上げます。
- ・ご回答いただいた内容は、本アンケート調査の目的以外に使用することは一切ございません。また、その内容によって個人を特定することもございません。

◆ご回答にあたってのお願い

- ・この調査は、保護者の方と、あて名のお子さん本人に回答いただく設問に分かれています。
- ・回答時間は保護者用が〇～〇分程度、子ども用が〇～〇分程度です。
- ・本アンケート調査は、この調査票に直接記入する以外に、Web上で回答することができます。Web上での回答を希望する場合は、右の二次元バーコードを読み取って回答画面にお進みください。
※紙の調査票かWebのどちらか一方でのみご回答ください。
- ・この調査票に直接ご回答いただく場合は、黒または青のボールペン、万年筆、濃い鉛筆等をご使用ください。

◆お問合せ先

- ・アンケート調査に関わるご不明な点やお問合せは、下記までご連絡ください。
<横浜市コールセンター（8時～21時、年中無休）>
電話：●●●-●●●-●●●●、ファックス：●●●-●●●-●●●●
※問合せ内容によっては、担当部署の横浜市子ども青少年局企画調整課へ転送もしくはおかけ直しをお願いすることがあります。
<担当部署>
横浜市子ども青少年局企画調整課 生野・野口
電話：●●●-●●●-●●●● E-Mail：kd-kikaku@city.yokohama.jp

調査票にご記入いただきましたら、お手数ですが、

令和 年 月 日（ ）までに

同封の返信用封筒をご利用の上、切手は貼らずにご投函ください。

目次（調査内容）

頁

1	お子さんとご家族の状況について.....	1
2	保護者の就労状況について	2
3	お子さんの障害、発達の状況について	3
4	お子さんの放課後の過ごし方について	4
4-1	放課後キッズクラブ	6
4-2	放課後児童クラブ	9
4-3	民間企業等が運営する学童保育事業所	12
4-4	障害児通所支援事業（放課後等デイサービス）	13
4-5	横浜子育てサポートシステム	14
4-6	プレイパーク	14
5	お子さんの病気の際の対応について	15
6	子育て全般について	16
7	あて名のお子さんご本人への質問.....	24

1 あて名のお子さんご家族の状況について

問1 お住いの区はどこですか。(あてはまる番号1つに○)

1. 青葉区	2. 旭区	3. 泉区	4. 磯子区	5. 神奈川区
6. 金沢区	7. 港南区	8. 港北区	9. 栄区	10. 瀬谷区
11. 都筑区	12. 鶴見区	13. 戸塚区	14. 中区	15. 西区
16. 保土ヶ谷区	17. 緑区	18. 南区		

問2 あて名のお子さんの学年を伺います。(あてはまる番号1つに○)

1. 1年生	2. 2年生	3. 3年生
4. 4年生	5. 5年生	6. 6年生

問3 あて名のお子さんを含めたお子さんの人数を年齢区分ごとに伺います(令和5年4月1日時点)。

※あて名のお子さんも人数に含めてください。

※該当するお子さんがいない場合は「0」と記載してください。

お子さんの人数 <input type="text"/> 人			
未就学児 (0～2歳)	<input type="text"/> 人	未就学児 (3～5歳)	<input type="text"/> 人
小学校低学年 (1～3年生)	<input type="text"/> 人	小学校高学年 (4～6年生)	<input type="text"/> 人
中学生	<input type="text"/> 人	中学校卒業後、 18歳以下のお子さん	<input type="text"/> 人

問4 アンケートにお答えいただく方を伺います。(あてはまる番号1つに○)

※あて名のお子さんからみた関係を回答してください。

1. 父親	2. 母親	3. その他 ()
-------	-------	------------

問5 アンケートにお答えいただく方の配偶関係を伺います。(あてはまる番号1つに○)

1. 配偶者がいる	2. 未婚	3. 死別	4. 離婚
-----------	-------	-------	-------

問6 令和4年1年間の世帯全体の年間収入(税・社会保険料等控除前)を伺います。(あてはまる番号1つに○)

※ここでは、あなた以外の世帯員の収入も合計した金額を選択してください。

1. 200万円未満	2. 200～299万円	3. 300～399万円	4. 400～499万円
5. 500～599万円	6. 600～699万円	7. 700～799万円	8. 800～899万円
9. 900～999万円	10. 1,000～1,249万円	11. 1,250～1,499万円	12. 1,500～1,999万円
13. 2,000万円以上			

問7 あて名のお子さんの**父親、母親の年齢（令和5年4月1日時点）**を伺います。
 ※ひとり親家庭の場合は、養育している親の年齢のみ回答してください。

【父親】 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 歳	【母親】 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 歳
--	--

2 あて名のお子さんの保護者の就労状況について

問8 **父親の就労状況（自営業及びその家族従事者含む）**を伺います。（あてはまる番号1つに○）
 【母子家庭の場合、記入は不要です。問9にお進みください。】

1. 就労している	} → 問9にお進みください
2. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
3. これまで就労したことがない	

問8-1 問8で「1」に○をつけた方に伺います。

1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

※自宅で就労している場合は、仕事を開始する時間、仕事を終了する時間をお答えください。

1週当たりの就労日数 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 日	1日当たりの就労時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 分
家を出る時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 分	帰宅時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 分
【必ず24時間制でご記入ください。（例：午後6時半の場合は18時30分）】	

問9 **母親の就労状況（自営業及びその家族従事者含む）**を伺います。（あてはまる番号1つに○）
 【父子家庭の場合、記入は不要です。問10にお進みください。】

1. 就労している	} → 問10にお進みください
2. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
3. これまで就労したことがない	

問9-1 問9で「1」に○をつけた方に伺います。

1週当たりの就労日数、1日当たりの就労時間（残業時間を含む）、家を出る時間、帰宅時間をお答えください。

※就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンをお答えください。

※育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をお答えください。

※自宅で就労している場合は、仕事を開始する時間、仕事を終了する時間をお答えください。

1週当たりの就労日数 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 日	1日当たりの就労時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 分
家を出る時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 分	帰宅時間 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> <input style="width: 30px; height: 25px;" type="text"/> 分
【必ず24時間制でご記入ください。（例：午後6時半の場合は18時30分）】	

6 子育て全般について

問 24 中高生世代が利用する場所を整備することを考えた場合、どのようなことがあればよく利用されると思いますか。(あてはまる番号3つまで○)

1. 様々な体験活動ができる	2. カフェスペースがある	3. 大人の見守りがある
4. 学習スペースがある	5. オンライン上の居場所	6. 自然の中で遊べる
7. 無料で勉強をみってくれる	8. 無料や安価で飲食ができる	9. 地域の人が開いている遊びやイベントがある
10. その他 ()		
11. 特にない	12. 今はまだ分からない	

問 25 あて名のお子さんは、過去1年間に学校の授業や行事以外で以下のような体験をしましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

	していない	1～2回	3回以上
① キャンプ、登山、海水浴などの自然体験	1	2	3
② 農業体験	1	2	3
③ ボランティア	1	2	3
④ 動物園、水族館、博物館、芸術鑑賞	1	2	3
⑤ スポーツ観戦	1	2	3
⑥ 遊園地やテーマパークに行く	1	2	3
⑦ 地域の清掃活動やお祭りなどへの参加	1	2	3
⑧ 調べたり学んだりしたことを発表する体験	1	2	3
⑨ 国際交流活動	1	2	3

問 26 あなたは、横浜市に10年後も住んでいると思いますか。(あてはまる番号1つに○)

1. とてもそう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない
4. あまりそう思わない	5. 全くそう思わない	6. わからない

問 27 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(あてはまる番号1つに○)

1. 大変ゆとりがある	2. ややゆとりがある	3. 普通
4. やや苦しい	5. 大変苦しい	

問 30-2 相談したことがある方は、**どこに相談**しましたか。(電話でも来所でもどちらでも可)
(あてはまる番号すべてに○)

1. 親やきょうだいなどの親族	2. 友人や知人
3. 近所の人	4. 子どもが通う学校の担任
5. スクールカウンセラー	6. 学校の先生 (担任以外)
7. 民生委員・児童委員・主任児童委員	8. 区役所の子育て相談
9. 電話児童相談室	10. 児童相談所
11. 教育総合相談センター	12. かかりつけの医師
13. 医療的ケア児・者等 コーディネーター	14. その他 () (例)地域訓練会等

問 30-3 **相談したことがない方は、その理由**は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 相談するほどのことでもないと思うから	2. 相談することが恥ずかしい
3. (施設や機関など) 相談の時間が合わない	4. 自分が忙しい
5. 相談場所が遠い	6. 適切な相談先がない
7. 相談したことの秘密が守られるか不安	8. 相談先自体を知らなかった
9. その他 ()	

問 31 子育てに関する困りごとに具体的に対応するために、**どのような相談先があれば相談しやすい**ですか。(あてはまる番号すべてに○)

1. 子どもが自由に集まれるところでの気軽な相談 (地区センター、ログハウスなど)
2. 区役所や市役所において、子育ての専門職 (保健師や助産師等) があらゆる困りごとに 応じ、相談から支援までを一体的に行う窓口
3. 区役所や市役所の子育ての専門職 (保健師や助産師等) が家庭に訪問して行う相談
4. 教育に関する専門職 (教師等) が家庭に訪問して行う相談
5. 土日や夜間も対応できる子育てや教育の専門職 (教師等) による相談
6. 同じ悩みをもった子育て中の当事者同士の相談
7. インターネットや SNS、メールでの相談
8. その他 ()

問 34 現在横浜市では、児童手当や保育所保育料の口座振替等の申請をオンライン上で行うことができます。これらの子育て支援に関するオンライン上での手続きを利用したことがありますか。

(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. 利用したことがある →問 36 へ | 2. 利用したことがない |
|----------------------|--------------|

問 35 問 34 で「利用したことがない」と回答した方に伺います。

子育て支援に関するオンライン上での手続きを利用したことがない理由をお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

- | |
|---|
| 1. オンライン上で手続きできることを知らなかったから |
| 2. 行いたい手続きがオンライン上でできないから |
| 3. マイナンバーカードを持っていないから |
| 4. 電子申請のサイト（マイナポータル等）が利用しにくいから |
| 5. 手続きにかかる手間が区役所の窓口や郵送で申請するよりも大きい（または変わらない）から |
| 6. 区役所の窓口や郵送で申請をすることに負担を感じないから |
| 7. 申請の際に区役所の職員等に相談しなかったから |
| 8. その他（) |
| 9. 特に理由はない |

問 36 今後の子育て支援の電子化に関連して、期待することをお答えください。

(あてはまる番号すべてに○)

1. 電子申請・届出が可能な子育て支援サービスの対象拡大
2. 区役所等に行く頻度が減ること
3. 作成する必要がある書類が減ること
4. 一度入力した情報（氏名や住所等）について再度の入力を求められないこと
5. 複数の子育て支援サービスに関する手続きを一度に行えること
6. 母子手帳の電子化
7. 妊婦健診・乳幼児健診等の各種健康診査結果の確認
8. 保育所・幼稚園・学校等との各種連絡の電子化
9. オンライン上での子どもの成績等の確認
10. 子育て支援サービスに必要な書類の書き方等についてオンライン上で相談できること
11. 子育てに関するオンライン上での相談
12. 子育て中の保護者とのオンライン上での交流・情報交換
13. 地域の子育て支援に関する情報の検索
14. 地域の子育て支援に関するプッシュ型の情報配信
15. 税・公共料金、子育て支援サービス利用料の電子決済
16. 各種クーポンの保管・利用
17. その他（)

問 37 あなたは、子どもを育てている現在の生活に満足していますか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|--------------|--------------------|
| 1. 満足している | 2. どちらかといえば満足している |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかといえば満足していない |
| 5. 満足していない | |

問 38 今後、子育て支援の充実に向けて、どのようなことを望みますか。

(あてはまる番号すべてに○、また最も望むものの番号を記入)

1. 学校教育の充実
2. 子どもを一時的に預けられるサービスの充実
3. 教育費などの子育て費用の助成
4. 子育て支援サービスに関する情報提供の充実
5. 子どもとの関わり方やしつけ方を教えてくれる機会の充実
6. 子育てに関する相談できる体制の充実
7. ICT を活用した子育て支援の充実
8. 子育て中の親が気軽に交流できる場所・機会の充実
9. 子育て家庭の家事を支援するサービス
10. 子どもの遊び場の充実
11. 自然体験などの子どもの体験活動の充実
12. 子どもがスポーツを行う機会の充実
13. 子どもが安心して過ごせる居場所づくり
14. 障害児支援の充実
15. 交通事故や犯罪から子どもを守る環境の整備
16. 子連れの方が街中を移動しやすい環境の整備
17. 公共施設・商業施設における託児スペースの充実
18. 子育てしやすい労働環境づくりに向けた企業への啓発
19. 子どもの意見を政策に反映させる仕組みづくり
20. その他 ()

うち最も望むもの(1つ) ⇒ 番

問 39 放課後施策や子育て支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。
また、本調査に関してお気づきの点がございましたら、あわせてご記入ください。

あて名のお子さんご本人に回答いただける場合⇒問 40 以降にお進みください。

あて名のお子さんご本人のご協力が難しい場合⇒調査は以上になります。
ご協力ありがとうございました。

問 43 あなたが、学校の授業以外で、新しいことを知ったり学んだりするのはどのようなときですか。
(○は何個でも)

- | | |
|-------------------------|--|
| 1. 学校で配られるプリントを読むとき | 2. 教科書や本を読んでいるとき |
| 3. 学習用のアプリを使うとき | 4. 塾で勉強するとき |
| 5. 動物園や水族館、博物館などに行くとき | 6. 家で親やきょうだいと話しているとき |
| 7. 友達と話しているとき | 8. テレビを見ているとき |
| 9. YouTube などの動画を見ているとき | 10. SNS (Twitter や Instagram など) を見ているとき |
| 11. インターネットで調べ物をするとき | 12. その他 () |

問 44 「未来の理想の自分」のイメージに合う言葉を教えてください。(○は3つまで)

- | | | | |
|-------------|----------|--------|--------|
| 1. 夢 | 2. 希望 | 3. 幸福 | 4. 自信 |
| 5. 挑戦、チャレンジ | 6. 努力 | 7. 進歩 | 8. 成長 |
| 9. 信頼 | 10. 仲間 | 11. 成功 | 12. 勇気 |
| 13. 可能性 | 14. 安心 | 15. 豊か | 16. 健康 |
| 17. その他 () | 18. 特にない | | |

問 45 あなたの好きな○○を教えてください。(○は3つまで) **【調整中】**
(これから作る、この次の「横浜市子ども・子育て支援事業計画」を広くお知らせする冊子やチラシ、ウェブページなどのデザインに活かしたいと思います。)

問 46 あなたが、学校の先生や役所の人などの大人に伝えたいことがあれば、どのようなことでも良いので、教えてください。

**調査にご協力いただき、ありがとうございました。
同封の返信用封筒に入れ、切手は貼らずにご投函ください。**

第6期第1回 横浜市子ども・子育て会議 青少年部会 資料

「青少年の地域活動拠点づくり事業」の 効果的実施に向けた検討について

令和5年6月29日 青少年部青少年育成課

「青少年の地域活動拠点づくり事業」では、中高生世代を中心とした青少年を対象とした居場所を、現在市内8か所に設置しています。

本市では、「第3期子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けて、社会や時代の変化を捉え、この事業をより効果的に実施するため、検討を進める予定です。

検討に当たっては、現状と課題を分析し、青少年の居場所に求められる機能や役割を明確にした上で、子ども・子育て会議青少年部会でいただいたご意見を参考に、今後の方向性について検討していきたいと考えています。

今年度、本日を含め4回程度会議を開催し、年度末にまとめを行います。第1回目の本日は、検討の趣旨や背景、現在の拠点の概要や検討の視点などをお話し、今後の進め方や留意点についてご意見をいただきたい。

(1) 子ども・青少年を取り巻く環境の変化

- ・コロナ禍の生活の変化による心身への影響
- ・地域のつながりの希薄化、子ども同士の育ち合い・学び合いの機会の減少
- ・子育てに関する青少年期までの切れ目のない支援の必要性
- ・課題の複雑化・複合化・価値観の多様化に伴う居場所づくり必要性


(2) 本市の青少年の居場所づくり事業の現状と課題

- ・運営団体の得意分野を生かした補助事業
- ・事業の効果について、数値による検証が求められる
- ・「第2期子ども・子育て支援事業計画」の想定事業量が未達成
(想定事業量:令和6年度までに12拠点)

(3) 国の「こども・若者の居場所づくり」の動き

- (1) 子ども・青少年・保護者のニーズに合致しているか
（「居たい・行きたい・やってみたい」）
- (2) 様々な子ども・青少年の居場所の中で、公的な施設としての
「青少年の地域活動拠点」が果たすべき役割は何か
- (3) 事業に求める効果と数値による検証

4 本市における青少年の居場所① ～青少年の地域活動拠点～

事業名称	青少年の地域活動拠点づくり事業	
事業開始	平成19年度	
事業目的	<p>中・高校生世代の青少年が安心して気軽に集い、様々な体験や交流を行うことで、青少年の社会参画に向かう力を育成。</p> 	
主な事業内容	(1)	青少年が気軽に集い、自由に活動する場の運営（フリースペース、自習スペース、スタジオ等）
	(2)	青少年が、仲間や多世代と交流する <u>機会の提供</u> （街づくりプロジェクト、美術展等）
	(3)	青少年を対象とした、 <u>地域資源を活用した社会参加プログラムの実施</u> （ボランティア体験等）
実施状況	7区で実施（南、保土ヶ谷、磯子、金沢、青葉、都筑、栄）	
開所日数	週3日以上／原則15時から20時まで	

4 本市における青少年の居場所② ～青少年の交流・活動支援事業～

名称	青少年の交流・活動支援事業（さくらリビング）
事業開始	平成28年度（青少年交流センター廃止に伴い設置）
事業目的	青少年の居場所や活動の場の提供など、青少年の健やかな成長を支援し、社会参画に向かう力を育成。
主な事業内容	<ol style="list-style-type: none">(1) 青少年が気軽に集い、<u>自由に活動する場の運営</u>（フリースペース、自習室、音楽スタジオ等）(2) 青少年が、仲間や多世代と交流する<u>機会の提供</u>（街づくりプロジェクト、美術展等）(3) 青少年を対象とした、地域資源を活用した<u>社会参加プログラムの実施</u>（ボランティア体験等）(4) 「青少年の地域活動拠点づくり事業」の<u>運営支援</u>
実施状況	桜木町駅前の商業施設で青少年の居場所機能のほか、貸館機能も備えて実施（一般利用も可）
開所日数	原則 週7日／9時から22時まで

4 本市における青少年の居場所③ ～令和4年度 各拠点の概要～

区	名称	事業開始	主な活動内容	運営主体	開館時間	利用者数(人)
青葉	あおばコミュニティ・テラス	R2.11	「あおば未来プロジェクト」 中高生と大学生サポーターで企画し、地域の課題解決に取り組む青少年が主体のプロジェクトを実施。	特定非営利活動法人まちと学校のみらい	月曜日、水曜日、土曜日 15時から20時まで (土曜日のみ13時から18時まで)	1,242
磯子	イソカツ	H29.11	「社会体験プログラム」 地域等の協力を得て、地域のさまざまな施設・団体等でのボランティア活動や職業体験を実施。	特定非営利活動法人コロンプスアカデミー	火曜日、木曜日、土曜日 15時から20時まで (土曜日のみ13時から18時まで)	3,795
金沢	カナカツ	H24.4	「カナカツ美術展」 地域の協力を得て、金沢区内の中高校生が、企画・運営・準備を行い、自分たちで作り上げる美術展を開催。	特定非営利活動法人コロンプスアカデミー	火曜日、木曜日、土曜日 15時から20時まで (土曜日のみ13時から18時まで)	2,662
栄	フレンズ☆SAKAE	H23.3	「ティーンズクリエイション」 中高生世代の作品展の開催。演劇や動画作成、美術展示などを地域と協力して中高生が作り上げるイベントを実施。	社会福祉法人地域サポート虹	火曜日、水曜日、金曜日、土曜日 15時から20時まで (土曜日のみ10時から18時まで)	3,193
都筑	つづきMYプラザ	H19.12	「はあとdeボランティア」 多くの地元の企業や団体の協力で、地域で中高生がボランティア活動を実施。企画運営から青少年が行う。	特定非営利活動法人つづき区民交流協会	月曜日から日曜日まで(毎月第3月曜日は休館) 10時から21時まで (土曜日、日曜日、祝日は18時まで)	8,288
保土ヶ谷	ハッピースクエア	H19.10	「居場所でのボランティア活動」 常に安心して過ごせる居場所で企業や地域の方と協力してボランティア活動を実施。	特定非営利活動法人リロード	火曜日から土曜日まで 15時から20時まで (土曜日のみ13時から18時まで)	521
南	M-base	H22.2	「放課後マンガ教室」 講師はプロの漫画家や専門学校生等。自分のペースで作業をしながら基礎からマンガの描き方を身に付ける。	みなみ青少年地域活動拠点運営委員会	火曜日から土曜日まで 15時00分から20時まで (土曜日のみ10時から17時まで)	2,662
中	さくらリビング	H19.4	「中高生夏季ボランティア」 地域の企業や福祉施設などで、夏休み期間にボランティア活動を行う。	公益財団法人よこはまユース	月曜日から日曜日まで 9時から22時まで ※休館日は、毎月第1日曜日、12月29日から翌年1月3日まで	19,560

★気軽に集い、自由に活動できる居場所



★地域資源を活用した社会参加プログラム



★仲間や多世代と交流する機会



目的

こども家庭庁では、全てのこども・若者が安全で安心して過ごし、様々な学びや体験の機会に触れ、幸せな状態（Well-being）でいることができる居場所づくりを推進するため、「こどもの居場所づくりの指針」策定に向けて検討を進めています。

こども・若者の居場所づくりにおいて大切にしたい視点



- 居場所づくりにおいて重要なことは、こども・若者の主体性の尊重である。
- その場を居場所と感じるかどうかなどは、本人が決めることである。
- そうした観点から、こども・若者の声（視点）を軸に「居たい・行きたい・やってみたい」の3つの視点で整理した。 *こども・若者の声には相互に矛盾するものもあるが、多様な居場所づくりにおいてそれぞれ尊重したい視点であるため、そのまま記載した。居場所が求められる根拠として受け止められることを願う。

今後の流れ

令和5年5月～12月

こどもの居場所部会にてヒアリングや論点提示を進め指針策定に向けた検討

令和5年12月

こどもの居場所づくりに関する指針（仮称）を新たに閣議決定

6 本市のこども・青少年関連施設の対象年代別一覧

子どもの居場所一覧（全ての子ども・若者を対象とする居場所）				
就学前（0～6歳）	小学校（～12歳）	中学校（～15歳）	高校（～18歳）	大学等（18歳～）
親子のつどいの広場				
地域子育て支援拠点				
子育てひろば				
はまっ子広場				
子育て支援者（非常設）				
	放課後児童クラブ			
	放課後キッズクラブ			
	子ども食堂			
	プレイパーク			
		青少年の地域活動拠点等		
		【検討中】オンライン居場所（メタバース）		
			校内カフェ	
	地区センター			
	各区市民活動支援センター			
	地域ケアプラザ			
	図書館			

子どもの居場所一覧（特定のニーズを持つ子ども・若者を主な対象（利用者の制限有）とする居場所）				
就学前（0～6歳）	小学校（～12歳）	中学校（～15歳）	高校（～18歳）	大学等（18歳～）
児童家庭支援センター				
	ハートフルルーム・スペース			
	寄り添い型生活支援事業			
	放課後学び場事業			
	放課後等デイサービス			
		寄り添い型学習支援事業		
			地域ユースプラザ	
			よこはま型若者自立塾	

**1回目 検討の趣旨や背景及び事業の概要等のご説明
(本日)**

**2回目 ①事業の現状と課題(各施設の現状分析)
(8~10月頃) ②子ども・青少年のニーズ(アンケート等結果から)**

3回目 見直しの方向性の検討

**4回目 まとめ
(12~3月頃)**

※検討状況によって、部会の開催回数・時期が変更になる場合があります。

8 青少年の地域活動拠点紹介動画(フレンズ★SAKAE)



青少年の 地域活動拠点

～横浜市こども青少年局補助事業～

青少年の成長過程において、思春期は大きな変化を迎える時期です。この期間に多様な人との出会いや様々な経験をすることで、青少年は社会の一員として自立していきます。

青少年の地域活動拠点では、中・高校生世代の青少年が放課後・休日にスタッフや他の利用者と交流できるフリースペースを設けており、「誰でも」「いつでも」「誰とでも」人間関係を築くことができます(居場所の提供)。

また、地域でのボランティア活動や青少年自身が企画するイベントの開催などのプログラムを実施しています。

地域活動拠点では、こうした家庭や学校などでは得ることのできない交流や体験の機会を提供し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

■青少年の地域活動拠点づくり事業の概要

- ①事業目的: 中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、様々な体験や交流を行う。
- ②実施手法: 横浜市が運営団体を選定し、運営費を補助 ③実施主体: NPO法人等の民間団体
- ④事業内容: 居場所の提供、体験機会の提供 ⑤実施状況: 18区中7区で実施
- ⑥実施場所: 民間ビル等で概ね50㎡～200㎡ ⑦実施時間: 週3日以上/原則15時から20時まで
- ⑧設置内容: フリースペース(無料)、多目的スペース等



青少年の地域活動拠点の機能

青少年を育む地域づくり

区の特徴的な地域資源との連携や地域団体によるボランティアの受入等

居場所の提供

- ①安心して気軽に集える場
- ②スタッフとのコミュニケーション
- ※保護者向けセミナー

体験機会の提供

- ①ボランティア、職業体験
- ②青少年のイベント企画・運営
- ③地域活動への参加

青少年が自らの生き方を考え、社会参画に向かう力を育成

居場所が多い人ほど
前向きな将来像を描いています。

(2017年度版子供・若者白書より)

体験活動は青少年が
「社会を生き抜く力」を育みます。

(平成25年1月 中央教育審議会答申より)

青少年の地域活動拠点のもう一つの役割

地域活動拠点では、全ての青少年の成長支援を行っていますが、思春期の青少年の心の状態は揺れ動きやすく、不安定です。そのため、拠点のスタッフが個々の状況に応じた対応を行うことで、抱える悩みや課題が深刻な状況にならないよう、「セーフティネット的役割」も果たしています。



積極的な声かけ等
による働きかけ



悩みや課題を抱えながらも
健全に成長している状態



青少年の
健やかな成長

利用者の声 「スタッフが気さくに話してくれる」「将来のここの相談に応じてくれる」「交流が普段ないから、こういう場所はとても良いと思う」

お問合せ先

横浜市こども青少年局青少年育成課

電話: 045-671-2324 FAX: 045-663-1926

E-mail kd-ikusei@city.yokohama.jp

お気軽に、拠点へお越しく下さい。



横浜市では、民間ビル等を活用し、青少年の地域活動拠点を7区(令和3年度現在)に設置しており、NPO法人等の民間団体がそれぞれのノウハウを活かして運営しています。全ての拠点でフリースペースを備え、様々な社会参加プログラム(ボランティア体験や青少年自身で企画・運営するイベント等)を体験できるようになっています。また、全ての拠点で年1回程度、中・高校生世代の青少年を持つ保護者の方を主な対象として、思春期の子育て等をテーマにしたセミナーを実施しています。

※施設内容や設備は各拠点によって異なりますので、直接お問い合わせください。

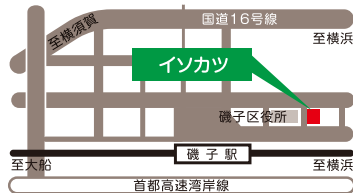
横浜市 青少年 拠点 検索



磯子区

イソカツ

- 運営団体：特定非営利活動法人 コロンブスアカデミー
 - 開所日：火曜日、木曜日、土曜日
 - 開所時間：15:00～20:00(土曜のみ13:00～18:00)
 - 施設内容：フリースペース
 - 場所：磯子区磯子3-4-23 浜田ビル2階
 - 電話：080-4423-1876
- <https://iso-katsu.com/>



栄区

フレンズ☆SAKAE

- 運営団体：社会福祉法人 地域サポート虹
 - 開所日：火曜日、水曜日、金曜日、土曜日
 - 開所時間：15:00～20:00(土曜のみ10:00～18:00)
 - 施設内容：フリースペース、多目的スペース、スタジオ
 - 場所：栄区桂町711 さかえ次世代交流ステーション2階
 - 電話：(045)898-1400
- <http://friendssakae.jp/>



保土ヶ谷区

ハッピースクエア

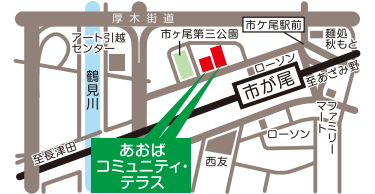
- 運営団体：特定非営利活動法人 リロード
 - 開所日：火曜日から土曜日
 - 開所時間：15:00～20:00(土曜のみ13:00～18:00)
 - 施設内容：フリースペース
 - 場所：保土ヶ谷区天王町1-30-17 MKシティビル1階
 - 電話：(045)334-3042
- <http://reroad.jp/happysq/>



青葉区

あおばコミュニティ・テラス

- 運営団体：特定非営利活動法人 まちと学校のみらい
 - 開所日：月曜日、水曜日、土曜日
 - 開所時間：15:00～20:00(土曜のみ13:00～18:00)
 - 施設内容：フリースペース、ワークスペース
 - 場所：青葉区市ケ尾町1153-2ライオンズプラザ市ケ尾201
青葉区市ケ尾町1153-3第2カブラキビル301
 - 電話：(045)500-9254
- <https://aobact.com/>



金沢区

カナカツ

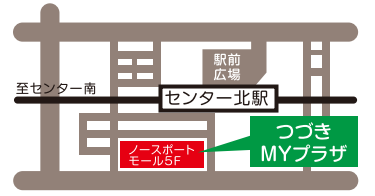
- 運営団体：特定非営利活動法人 コロンブスアカデミー
 - 開所日：火曜日、木曜日、土曜日
 - 開所時間：15:00～20:00(土曜のみ13:00～18:00)
 - 施設内容：フリースペース
 - 場所：金沢区谷津町359
 - 電話：(045)374-4035
- <https://kana-katsu.com/>



都筑区

つづきMYプラザ

- 運営団体：特定非営利活動法人 つづき区民交流協会
 - 開所日：月曜日から日曜日 ※第3月曜休館
 - 開所時間：10:00～21:00(土日祝のみ18:00まで)
 - 施設内容：フリースペース、会議室、スタジオ2室
 - 場所：都筑区中川中央1-25-1 ノースポートモール5階
 - 電話：(045)914-7171
- <https://tsuzuki-myplaza.net/newhome/>



南区

M-base

- 運営団体：みなみ青少年地域活動拠点運営委員会
 - 開所日：火曜日から土曜日
 - 開所時間：15:00～20:00(土曜のみ10:00～17:00)
 - 施設内容：フリースペース
 - 場所：南区睦町1-15-15 横浜青年館内
 - 電話：(045)308-6610
- <https://super-ykst.jp/>



○横浜市子ども・子育て会議条例

(設置)

第1条 子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号。以下「支援法」という。)第72条第1項、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成18年法律第77号。以下「認定こども園法」という。)第25条等の規定に基づき、横浜市子ども・子育て会議(以下「子育て会議」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 子育て会議は、次に掲げる事務を行うものとする。

- (1) 支援法第72条第1項各号に掲げる事務を処理すること。
 - (2) 認定こども園法第17条第3項、第21条第2項及び第22条第2項並びに横浜市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営の基準に関する条例(平成26年9月横浜市条例第46号)第4条の規定によりその権限に属させられた事項を調査審議すること。
 - (3) その他支援法第6条第1項に規定する子ども等に係る施策に関し市長が必要と認める事項を調査審議すること。
- 2 支援法第61条第1項の規定に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画は、次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)第8条第1項の規定に基づく市町村行動計画と一体のものとして策定し、及び評価するため、子育て会議は、当該市町村行動計画の策定及び当該市町村行動計画の実施状況に係る評価についての調査審議を併せて行うものとする。

(組織)

第3条 子育て会議は、委員20人以内をもって組織する。

- 2 委員は、支援法第7条第1項に規定する子ども・子育て支援に関し学識経験のある者その他市長が必要と認める者のうちから、市長が任命する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

- 2 委員は、再任されることができる。

(臨時委員)

第5条 市長は、子育て会議に特別の事項を調査審議させるため必要があると認めるときは、臨時委員若干人を置くことができる。

- 2 臨時委員は、市長が必要と認める者のうちから市長が任命する。
- 3 臨時委員の任期は、当該特別の事項に関する調査審議が終了したときまでとする。

(委員長及び副委員長)

第6条 子育て会議に委員長及び副委員長1人を置く。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選によって定める。
- 3 委員長は、子育て会議を代表し、会務を総理し、会議の議長となる。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 子育て会議の会議は、委員長が招集する。ただし、委員長及び副委員長が選出されていないときは、市長が行う。

- 2 子育て会議は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 子育て会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(部会)

第8条 子育て会議に、部会を置くことができる。

- 2 部会は、委員長が指名する委員又は臨時委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、委員長が指名する。
- 4 部会長に事故があるとき、又は部会長が欠けたときは、委員長の指名する部会の委員が、その職務を代理する。
- 5 第6条第3項の規定は部会長の職務について、前条(第1項ただし書を除く。)の規定は部会の会議について、それぞれ準用する。この場合において、第6条第3項並びに前条第1項本文及び第3項中「委員長」とあるのは「部会長」と、第6条第3項及び前条中「子育て会議」とあるのは「部会」と、同条第2項及び第3項中「委員」とあるのは「部会の委員」と読み替えるものとする。

(関係者の出席等)

第9条 委員長又は部会長は、それぞれ子育て会議又は部会において必要があると認めるときは、関係者の出席を求めてその意見若しくは説明を聴き、又は関係者から必要な資料の提出を求めることができる。

(庶務)

第10条 子育て会議の庶務は、こども青少年局において処理する。

(委任)

第 11 条 この条例に定めるもののほか、子育て会議の運営に関し必要な事項は、委員長が子育て会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成 25 年 4 月 1 日から施行する。

(委員の任期の特例)

2 第 3 条第 2 項の規定により平成 27 年 4 月 1 日に任命される委員の任期は、第 4 条第 1 項本文の規定にかかわらず、同日から平成 28 年 10 月 31 日までとする。

附 則(平成 26 年 9 月条例第 59 号)

(施行期日)

1 この条例は、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律(平成 24 年法律第 66 号)の施行の日から施行する。ただし、次項の規定は、公布の日から施行する。

(準備行為)

2 横浜市子ども・子育て会議条例第 1 条に規定する子育て会議は、この条例の施行の日前においても、就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律の一部を改正する法律による改正後の就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律(平成 18 年法律第 77 号)第 17 条第 3 項の規定によりその権限に属させられる事項について、この条例による改正後の横浜市子ども・子育て会議条例の規定の例により、調査審議することができる。

附 則(平成 27 年 2 月条例第 12 号) 抄

(施行期日)

1 この条例は、子ども・子育て支援法(平成 24 年法律第 65 号)の施行の日から施行する。ただし、附則を附則第 1 項とし、同項に見出しを付し、附則に 1 項を加える改正規定は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附 則(令和 5 年 3 月条例第 7 号)

この条例は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。

横浜市子ども・子育て会議運営要綱

制定 平成 27 年 3 月 5 日 こ企第1019号 (局長決裁)
最近改正 平成 30 年 8 月 1 日 こ企第142号 (局長決裁)

(趣旨)

第1条 この要綱は、横浜市子ども・子育て会議条例（平成 25 年 3 月横浜市条例第 18 号。以下「条例」という。）に基づき設置される、横浜市子ども・子育て会議（以下「子育て会議」という。）の組織、運営その他必要な事項について定めるものとする。

(部会)

第2条 子育て会議は、条例第 8 条に基づき次の左欄に掲げる部会を置き、右欄に掲げる事項を調査審議する。

部会の名称	調査審議事項
子育て部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係）
保育・教育部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係） 2 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の確認及び利用定員の設定に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号関係） 3 幼保連携型認定こども園の認可等に関すること（条例第 2 条第 1 項第 2 号関係） 4 幼保連携型認定こども園の整備費補助対象の審査に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 5 幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 6 幼稚園・認定こども園預かり保育事業の認定先の審査に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 7 幼稚園 2 歳児受入れ推進事業実施園の審査に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係） 8 子ども・子育て支援法に係る支給認定、利用者負担額等に関すること（条例第 2 条第 1 項第 3 号関係）
放課後部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係）
青少年部会	1 横浜市子ども・子育て支援事業計画の調査審議に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号及び第 2 条第 2 項関係）

2 部会は、必要に応じ部会長が招集する。

3 保育・教育部会における次の事項の決定は、子育て会議の決定とみなす。ただし、次回の子育て会議に報告しなければならない。

- (1) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用定員の設定に関すること（条例第 2 条第 1 項第 1 号関係）
- (2) 幼保連携型認定こども園の認可等に関すること（条例第 2 条第 1 項第 2 号関係）
- (3) 幼保連携型認定こども園の整備費補助対象の審査に関すること（条例第 2 条第 1

項第3号関係)

- (4) 幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定に関する事(条例第2条第1項第3号関係)
- (5) 幼稚園・認定こども園預かり保育事業の認定先の審査に関する事(条例第2条第1項第3号関係)
- (6) 幼稚園2歳児受け入れ推進事業実施園の審査に関する事(条例第2条第1項第3号関係)

(委員長又は部会長の専決事項)

第3条 委員長は、軽易又は急施を要する事項で、子育て会議を招集する暇がないときは、これを専決できる。ただし、次の子育て会議に報告しなければならない。

- 2 第1項の規定は、第2条第3項について、部会長に準用する。この場合において、第1項中「委員長」とあるのは「部会長」と、第1項中「子育て会議」とあるのは「部会の会議」と読み替えるものとする。

(会議の公開)

第4条 横浜市に保有する情報の公開に関する条例(平成12年2月横浜市条例第1号)第31条の規定により、子育て会議(部会の会議を含む。)については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(意見の聴取等)

第5条 委員長は、子育て会議の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求め、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

- 2 第1項の規定は、部会長に準用する。この場合において、第1項中「委員長」とあるのは「部会長」と、第1項中「子育て会議」とあるのは「部会の会議」と読み替えるものとする。

(守秘義務)

第6条 委員及び臨時委員は、職務上知り得た秘密をもらしてはならない。その身分を失った後も同様とする。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか、運営に必要な事項は、委員長が子育て会議に諮って定める。

附 則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成28年11月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成30年8月1日から施行する。